

社会技術研究論文集が対象とする論文の目的と題材の例

例えば以下の(1)～(7)を目的とした論文は、社会技術研究論文集の対象となる。

- (1) 既存システムの実態に関する調査や分析。あるいは、それらを踏まえた問題の提起。
- (2) ステークホルダー（一般市民も含む）の持つ価値の多元性を踏まえ、問題の定式化やシステムの目標設定を支援するための、新しい手法の構築。あるいは、既存手法を適用することによる新しい知見の創出。
- (3) 新たなシステムの開発や設計や提案。あるいは、開発のためのアイデア発想を支援する手法の提案。
- (4) (3)における、新たなシステムの開発に必要な要素技術の開発に関する基礎研究。
- (5) 新たなシステムの導入が社会に及ぼす影響を評価するための手法の構築。あるいは、評価の実践。
- (6) 新たなシステム導入の実践に関する報告。
- (7) 新たなシステムに係る諸ステークホルダー（一般市民も含む）の分析や政策過程論的な分析等を踏まえた、システム導入の戦略に関する分析。

上記の(1)～(7)の目的は、過去に社会技術研究論文集に掲載された論文からまとめたものであり、これらに限られるわけではない。

過去に社会技術研究論文集に掲載された論文の題材を、上記(1)～(7)の目的ごとに分類し、以下に示す。

- (1) 原子力産業界の自主規制体制の分析、原子力安全委員会の分析、医療事故報告制度の分析
- (2) 広域交通政策の立案手法の構築、わが国の科学技術戦略の立案
- (3) リスクの分野横断的比較を踏まえた対応策立案支援手法の提案、加害者ペナルティを考慮した安全法の設計、損害保険制度の設計、自動車交通事故対策のための対策実施主体間の連携システムの設計
- (4) 地震時の緊急避難行動予測シミュレーターの開発、津波被害シミュレーターの開発
- (5) 診療ナビゲーションシステムの影響分析
- (6) 診療ナビゲーションシステムの病院への実装の報告
- (7) 再生可能エネルギー技術システムの導入の意思決定過程分析、道路整備事業における合意形成を目的とした住民の意識過程分析